

仕様書

事業名 クビアカツヤカミキリ防除対策業務

1. 規格および数量

防除対象	特定外来生物 「クビアカツヤカミキリ」
保全対象	桜「高田千本桜」被害木 55 本
防除方法	薬剤の樹幹注入 （樹幹部に注入孔を開け、薬剤を注入する）
使用薬剤	リバイブ （20ml ボトル）
製造者	シンジェンタ ジャパン（株）
薬効期間	2 年を有するもの
（同等品）	薬効期間2年を有するものとし、都市計画課の承認を受けること
数量	桜の被害木 50 本を防除するのに必要な薬剤の量 リバイブ予定発注数 20ml × 530 本（10 本単位）

2. 業務期間 契約締結の日から令和 9 年 1 月 31 日まで

3. 履行場所 大和高田市 大字大中 外地内
別添「被害木位置図」及び「クビアカツヤカミキリ防除対策調査表」参照

4. 施工方法

1. 注入部位は地際部～1mの樹幹、孔深は5cm程度とする。
2. ドリル等で斜め下方に孔径 5 mm～ 6 mm程度の注入孔を開け、薬液が形成層に触れないように注意して注入容器のノズル先端を押し込み樹幹注入すること。
3. 注入孔が複数となる場合は、樹幹の周囲に等間隔に分散させること。
4. 注入が終了した孔は、雨水や雑菌等の浸入を防ぐため、切口被覆塗布材の塗布、癒合剤で充填して適切に処置すること。
5. 樹幹注入を実施した桜には、後日確認できるよう、注入年月日及び薬剤名を記入したタグをつけること。

5. 安全管理

1. 注入中は作業員以外の者が作業現場に近づかないように、縄囲いや立て札を立てるなど安全対策を図ること。

6. 施業技術者（資格要件等）

1. 施工にあたっては樹木医の立会いのもと行い、樹木医の認定証の写しを作業日までに提出すること。
2. 注入方法については、樹木医または薬剤メーカーの指導に基づき、安全確実に実施すること。

7. 薬剤注入業務の記録及び提出

1. 作業前の状況及び注入中の作業状況、人員等を記録する作業記録を作成し提出すること。
2. 作業等に関する以下の記録写真を整理し提出すること。（対象木ごと）
 - （1）薬剤及び資料の納入状況（看板で業務名と数量を表示）
 - （2）薬剤樹幹注入作業中の状況（穿孔、注入）
 - （3）薬剤樹幹注入中の管理、監督の状況
 - （4）薬剤樹幹注入作業終了後の状況
（薬剤容器の抜取回収、切口被覆塗布材の塗布、癒合剤の充填）
3. 同等品と認められた薬剤で作業する場合、樹幹注入剤本数等をクビアカツヤカミキリ防除対策調査表の様式により、作業日までに提出すること。